

2019年6月22日～2019年6月28日

2019年7月2日

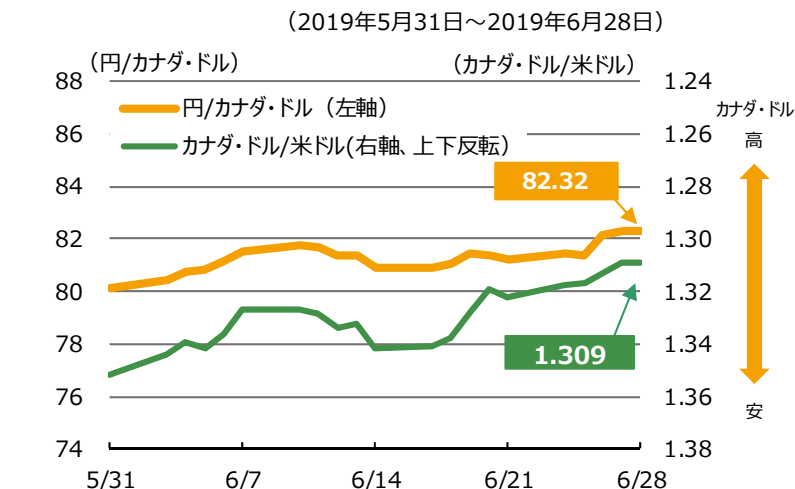
### 先週の回顧

カナダ・ドルは、対円で上昇しました。また、カナダ5年国債利回りはおおむね横ばいになりました。

原油価格が上昇したことや、先週発表された経済指標が良好な結果になったことなどを背景に、カナダ・ドルは対米ドル、対円で上昇しました。カナダの金利は米債利回りに連れて推移し、おおむね横ばいになりました。

経済指標に関しては、卸売売上高やGDP（国内総生産）が発表されており、双方ともに前月比ベースで市場予想を上回る結果になりました。卸売売上高に関しては、前月比+1.7%と市場予想の+0.2%を大幅に上回っています。

### カナダ・ドル 為替推移



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

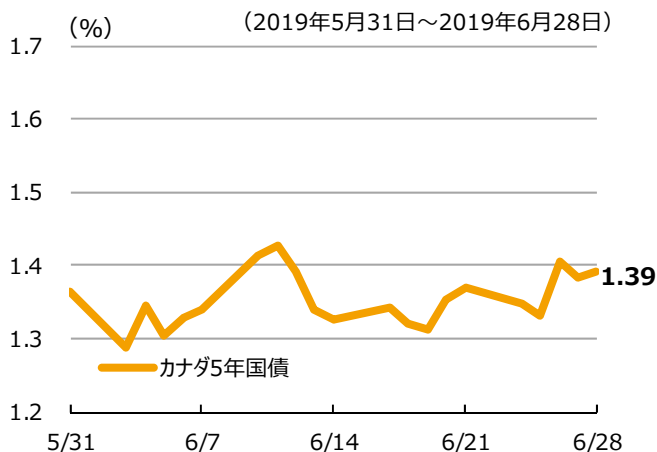
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 今週の見通し

今週、カナダでは雇用統計の発表が予定されています。雇用者数、失業率ともに前回から若干弱含むことが見込まれています。米国でも雇用統計の発表があり、市場で強まっている米国の利下げ観測に影響を与えるため、結果に注目が集まります。

足元では、米中首脳会談で通商協議が再開される見通しとなったことから、投資家のリスク選好姿勢が強まっており、カナダの通貨、金利を下支えすることが期待されます。また、経済指標が強含んでいることから、カナダでは利下げ観測が強まっておらず、欧米との金融政策の方向性の違いも、引き続き、カナダの通貨、金利の追い風になることが考えられます。

### カナダ 金利推移



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

#### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。